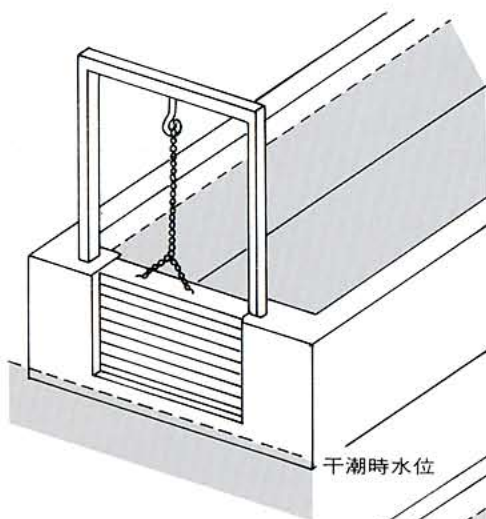


JOB REPORT

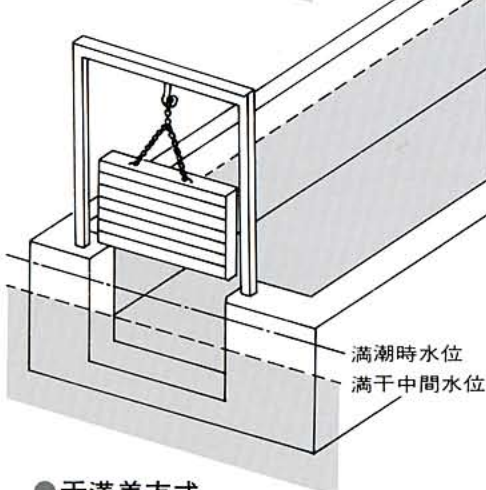
車えび養殖場に軸流ポンプが大活躍



● 経過および結果報告

沖縄県あさひ養殖場では、従来から潮の干満差を利用して換水を行っていた。満潮時に養殖池の海水を満たしても、干潮時には海水の入れ替えができず、海水に含まれる酸素の量が不足する。このため、えびの放養される数は効率の悪い干潮時の数しか養殖できない。

今回の、ポンプアップ方式を併用することにより、つねに水の入れ替えができるため酸素量は満たされ、えびの放養数は増大され放養密度も大幅に高めることができた。



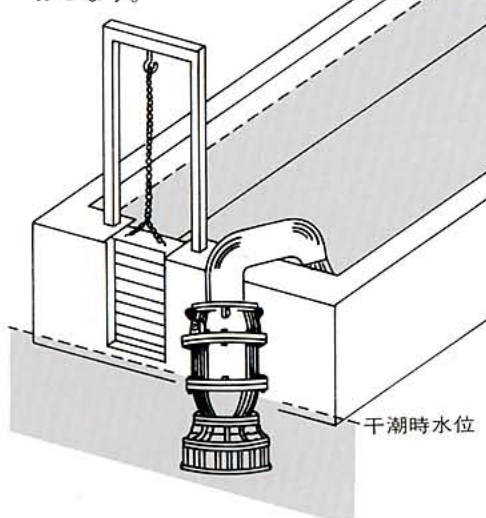
● データ

- ・ 設置場所
沖縄県平良市宇符
あさひ養殖場
- ・ 車えび生産規模
生産数……………45t/年
養殖面積……………88,000mm²
年間売上……………推定3億円
養殖の方式……干満差方式
+ポンプアップ方式



● 干満差方式

水位が、養殖池の水位と同等になった時に、海水の入れ替えをおこなう。



● ポンプの仕様

- 形式……………水中軸流ポンプ
G-1210形×6台
- 口径……………300mm
- 全揚程……………3.5m
- 吐出し量……………8.3m³/min
- モータ出力7.5kW

● 納入

昭和57年9月25日

● 使用状況

1日に4時間運転される（毎年9月から5月まで）
電力料節減のため125kVA 発電機で駆動

注. あさひ養殖場はこれまで、鶴見ポンプの独壇場であったが、今回、沖縄県車海老生産協同組合の御協力を得て納入に成功した。

● 干満差+ポンプアップ方式

干潮時でも、ポンプによってつねに海水を入れることができる。

G-1210形ポンプ寸法図

